様式5

乳がん検診精密検査医療機関の施設基準等に関する調書

1　乳房専用Ｘ線診断装置（日本医学放射線学会の仕様基準を満たしたもの）の整備状況

整備数　　　　　台

2　NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構（以下精中機構）の施設画像評価の状況（ア、イの該当項目を丸印で囲むこと。）

　　ア　マンモグラフィ検診施設画像認定施設　　　イ　認定されていない

3　乳房Ｘ線撮影を実施する診療放射線技師名（精中機構の撮影技術及び精度管理に関する講習会を修了し、評価B以上の診療放射線技師）

|  |  |
| --- | --- |
| 技師氏名 | 職　　名 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　　注1　届出時点において乳房Ｘ線撮影を実施する診療放射線技師について記載すること。

　　　 2　該当する診療放射線技師数が5人以上の場合には、別葉とすること。

　　　 3　該当する診療放射線技師がいない場合は、記載不要。

4　乳腺精密検査用超音波装置の整備状況　　　　　　　整備数　　　　　台

5　超音波装置による精密検査を担当する医師名、技師名、看護師名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 医師・技師・看護師氏名 | 職　　名 | 超音波専門医  （総合・乳腺） | 超音波検査士  （体表） | 超音波講習会  評価B以上 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

　　注1　届出時点において超音波装置による精密検査を実施する医師、技師、看護師について記載すること。

　　　 2　該当する医師等数が5人以上の場合には、別葉とすること。

　　　 3　超音波専門医（総合・乳腺）、超音波検査士（体表）の資格を有している場合及び精中機構の超音波講習会を受講し、B以上の評価を受けた者については、該当する欄に丸印を記載すること。

　　　 4　該当する医師等がいない場合は、記載不要。

6　診断医師名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 医師氏名 | 職　　名 | 日本乳癌学会 | | ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ読影講習会  評価B以上 |
| 乳腺専門医 | 乳腺認定医 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

　　注1　届出時点において確定診断を行う医師について記載すること。

　　　 2　該当する医師数が5人以上の場合には、別葉とすること。

　　　 3　日本乳癌学会の乳腺専門医、認定医である場合は、該当する欄に丸印を記載すること。

　　　 4　精中機構が主催あるいは共催するマンモグラフィ読影講習会を修了し、B以上の評価を受けた者については、該当する欄に丸印を記載すること。

7　乳房専用Ｘ線診断の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 例　数 | 備　考 |
| 実施例数  （乳がん症例数） | 例  （　　　　 例） |  |

　　注1　前年度（4月から3月）1年間の実施状況について可能な範囲で記載すること。

　　　2　乳房専用Ｘ線診断実施例数のうち乳がん症例については（　）内に再掲すること。

8　細胞診、針生検及び吸引式組織生検の実施状況等

(1)　病理診断の実施施設（ア、イの該当項目を丸印で囲み必要事項を記載すること。）

　　ア　自院で実施　　　　イ　他施設に委託（委託機関名　　　　　　　　　　　　　）

　(2)　 細胞診、針生検及び吸引式組織生検の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 例　数 | 備　考 |
| 細胞診 | 例 |  |
| 針生検 | 例 |
| 吸引式組織生検 | 例 |
| 乳がん症例数 | （　　　例） |

　　注1　前年度（4月から3月）一年間において、確定診断のための精密検査として実施した例数を可能な範囲で記載すること。

　　　2　細胞診、針生検及び吸引式組織生検実施例数のうち乳がん症例については（　）内に再掲すること。

9　乳がん患者の治療及び他医療機関との連携の状況

　(1)　自院において診断（疑い含む。）した患者の確定診断・治療の必要性から紹介する医療機関の状況

|  |  |
| --- | --- |
| 連携する医療機関名 | 連携する医療機関の所在地 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　　注1　前年度（4月から3月）一年間の状況について、可能な範囲で記載すること。

　　　2　主要な保険医療機関毎に3つを限度として記載すること。

　(2)　自院における治療の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 例　数 | 備　考 |
| 治療例数  （手術件数） | 例  （　　　　 例） |  |

　　注1　前年度（4月から3月）一年間の実施状況について、可能な範囲で記載すること。

　　　2　治療には、手術、化学療法、放射線療法、免疫療法及びホルモン療法等を含む。

　　　3　治療例数のうち、手術例数（根治及び非根治のいずれも含む。）について再掲すること。

10　学会・研修会等への参加状況

|  |  |
| --- | --- |
| 参加した学会・研修会名 | |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　　注　前年度（4月から3月）1年間の参加状況について、可能な範囲で記載すること。